

普及・地域の話題

東部地区漁業士会と行政との意見交換会

10月14日に東伊豆町役場で東部地区漁業士会と行政との意見交換会が開催されました。漁業士とは県が認定した地区のリーダーとなる人材のことで、東部地区漁業士会には、伊豆地域の漁業士が所属しています。当日は、県庁の水産・海洋局長と水産振興課長及び水産資源課長や、来賓として県漁業振興基金の常務理事や東日本信漁連下田営業所の職員の方も交えて意見交換を行いました。

今年度の意見交換のテーマは「キンメダイ資源評価及び資源管理」「各地区の漁模様」「漁船とシーカヤック等との関係」についてでした。キンメダイ資源評価及び資源管理では、会場職員から9月末に(国研)水産研究・教育機構から公表のあった今年度のキンメダイ資源評価結果について説明した後に、意見交換を行いました。漁業者からは、地区によってキンメダイの来遊状況が異なるはずで、それを評価や管理をする際に考慮していくべきという意見がありました。各地区の漁模様では、漁業者から、海藻類が消失してしまう「磯焼け」が発生していることや、針にかかったキンメダイがサメ等の生物に食べられてしまう「食害」が深刻であるとの情報提供がありました。これに対し、会場からは「磯焼け」についてアントクメやアカモク等の移植研究を検討していること、「食害」については本稿や第368号、第370号にも紹介している食害生物を追い払う「煙火」を集団で積極的に活用してほしい旨説明しました。最後に、漁船とシーカヤック等との関係について、より良い関係を築くにはどうしたら良いか話し合わせ、県庁からシーカヤック等のスクールを行う地元のショップと話し合い、一定の成果が出ている他地区の事例紹介がありました。



写真 意見交換の様子

(高田伸二)